一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		新庄浄水場等運転·管理業務事業					1262
	所属名	上下水道局 新庄浄水場			担当係名		
担当課等	課長名	上下水道局 浄水課長	担当者名	上下水;場	道局 新庄浄水	電話番号	697-6904

1. 事務事業の基本情報

コード
5
に、施

この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

盛岡市の発展に伴い水需要が配水能力を上回る見通しとなったことから、第7次拡張事業として新庄浄水場及び中津川取水場の建設を平成2年度に着手、平成7年度に 新庄浄水場が完成し給水を開始した。

この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか

盛岡市議会及び盛岡市水道事業経営審議会において、「安全でおいしい水の安定供給」「おいしい水道水の研究」「地震等自然災害に強い施設」等が求められている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか

将来にわたり水道水源の良好な水質を保持していくことを目的とし、盛岡市水道水源保護条例が平成14年3月公布し、同年10月1日から施行された。水道法一部改正により、水道事業の第三者への業務委託の制度化などが平成14年4月から可能になった。水道により供給される水に関する新しい水質基準を定める「水質基準に関する省令」が平成15年5月公布され、平成16年4月から施行された。平成19年3月水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針が示され、その対応に努めている。使用者の節水意識の向上と大口需要者の地下水利用への転換及び人口の減少等により給水量が減少している。

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象	○浄水処理施設等		②対象指標	A. 施設数	畄	筃所
	〇原水	⇒	企 对 然 拍 1 示	A. 旭政奴	単位	回加
(誰を,何を対象 としているのか)			(対象の大きさを 示す指標)		単位	m3
				C.	単 位	
③手段	22年度実績(22年度に行った主な活動)		④活動指標	A. 施設異常, 災害時等の職員の緊急出動回数	単位	口
(事務事業の内容, やり方, 手順)	・浄水処理施設等の適切な運転・管理により、原水を水 道法の水質基準に適合するように浄水し、水道使用者に 安定的に供給した。	1 1	(事務事業の活動 量を示す指標)	B. 浄水量(ろ過水量)	· 単 位	m3
	・浄水処理施設等を常時運転可能な状態に保つため、点検整備を行った。 ・施設の異常、災害時等にも運転管理を適正に行い、安全な水道水を安定的に供給した。 ・浄水処理に伴い発生した汚泥は、法律に基づき処理した。			C. 汚泥処理量	単位	m3
	23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様に実施					
⑤意図 (この事業により 対象をどのように	・浄水処理施設等は、24時間常に正常運転可能な状態にする。 ・原水は、浄水処理施設等により水道法の水質基準等に適合した水道水とし、水道使用者に安定的に供給を図	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を 示す指標)	A. 施設の正常稼動(減断水無し)率=(1-減断水日数/年度の日数)×100 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単 位	%
変えるのか)	に適合した水道水とし、水道使用者に安定的に供給を図り、発生する汚泥は、環境に影響を与えないように処理する。		小9 拍标/		Ш	
				B. 配水量 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単 位	m3
				C. 汚泥処理率=(汚泥処理量/原水の取水量)×100 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単 位	%
⑦結果 (上位基本事業 の意図:上位の 基本事業にどの ように貢献する	安全でおいしい水が安定供給される	↑	⑧上位成果 指標(上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分		単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象	施設数	箇所	4	4	4	4	4	4	26 年度
指標A	原水の取水量	m3	8.539.490	8.744.750	12.204.432	8684190	12204432	12204432	26 年度
対象 指標B	ホハの	1110	0,559,450	0,744,730	12,204,432	0004130	12204432	12204432	12204432
対象 指標C									年度
活動	施設異常, 災害時等の職員の緊急出動回数	回	22	7	10	32	10	10	26 年度
指標A 活動	浄水量(ろ過水量)	m3	8.692.790	8.899.510	12.204.432	8904160	12204432	12204432	26 年度
指標B	777-		0,002,700	5,555,515	12,201,102	3331133	12201102	12201102	12204432
活動 指標C	汚泥処理量	m3	2,378	3,592	6,102	3128	6102	6102	26 年度
成果	施設の正常稼動(減断水無し)率=(1ー減断水日数/年度の	%	100	100	100	100	100	100	6102 26 年度
指標A	日数)×100								100
成果 指標B	配水量	m3	8,242,327	8,365,440	12,045,000	8275565	12045000	12045000	
	江海加州泰一(江海加州县 / 原北 / 西北县) 以100	0/	0.00	0.04	0.05	0.04	0.05	0.05	12045000
成果 指標C	汚泥処理率=(汚泥処理量/原水の取水量)×100	%	0.03	0.04	0.05	0.04	0.05	0.05	26 年度 0.05

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	70,997	68,976	69,976	69,850	68,571	68,571	****
財源	4a	千円							****
内訳	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	****
	®その他	千円	70,997	68,976	69,976	69,850	68,571	68,571	****
	合 計(④~⑧) (=A)	千円	70,997	68,976	69,976	69,850	68,571	68,571	****
延べ業務時間数			13,762	13,762	15,728	15,728	15,728	15,728	****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)			55,048	55,048	62,912	62,912	62,912	62,912	****
トータルコスト (A) + (B)			126,045	124,024	132,888	132,762	131,483	131,483	****

3. 事務事業の評価(See)

必要	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びつ	見直す余地がある⇒ 4. 事務事業の改革案へ齢結びついている						
必要性評価	いていますか?	 理由:施設が24時間正常に運転することは、水道水をいつでも必要な時に必要な分だけ使用してもらえることにつながる。また、水道法の水質基準に適合した水道水とすることは、安全でおいしい水を信頼して使用してもらえることにつながり、発生する汚泥を水循環に影響を与えないように処理再利用することは、安定給水に結びつく。						
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか?	見直す余地がある⇒ 4. 事務事業の改革案へ受当である						
		└「妥当」とする理由: 法定事務である 内部管理事務である ● その他						
		理由:盛岡市の水道は、普及率97%を超え市民の健康な毎日の生活に欠かすことが出来ない必要なものとなっている。この事業は、水道法に基づき清浄にして豊富低廉な水の供給を図ることにより、公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的としていることから、市が行うべき事業である。						
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか? 広げら れませんか? また絞らなくてよいですか?	 拡大または絞る余地がある 現状で妥当である 事務事業の改革案へ						
		□「妥当」とする理由: ○ 法定事務である ○ 内部管理事務である ● その他						
		理由:浄水処理施設は、給水区域内に水道水を供給すべく条件に適した位置に設置されており,原水は水道事業 認可及び水利権の許可に基づいていることから,現状で見直す余地はない。						
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりし て、成果向上できませんか?							
		└「妥当」とする理由: ○ 法定事務である ● その他						
		理由:水道法に適合した浄水として使用者に供給しており、水道水質基準が改正された場合でも、これを反映させ常に適切な運転管理を行っている。						
有効性評点	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか?	● 向上余地がある ○ 向上余地がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
評価	⑥廃止・休止の影響	その内容:浄水場職員の技術力を高めることは、浄水場の安定した運転・管理の向上につながる。						
	⑤焼止・休止の影音 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか?	● 影響がない● 影響がある						
	 ⑦類似事務事業との関係	その内容:浄水場は、ライフラインである水道水の製造工場であり、この事業を廃止・休止することはできない。						
	類似の事務事業(国,県,市の内部,民間)はありませんか?	● 類似事業がある ● 類似事業がない						
		事業名:						
		※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか?						
		統廃合・連携検討 ○ できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ できない						
_		理由:						
効率性評	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませんか?	● 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ○ 削減できない						
評価		【						
	⑨人件費の削減余地	● 削減余地がある⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
	成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減す る余地はありますか? 	削減できない						
<u>//</u>	 伽受益機会の適正化余地	その内容:施設の故障等による職員の時間外緊急出動を減らすため、効率的な点検・整備を進める。						
公平性評	受益機会の適正化余地はありますか?	○ 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ ● 公平・公正である 特定の受益者はいない						
価								
	⑪費用負担の適正化余地	適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
	受益者の費用負担の適正化余地はありますか?	● 公平・公正である ○ 特定の受益者はいない						
		└────────────────────────────────────						

4. 事務事業の改革案(Plan)

改 ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
職員の高齢化が進んでおり、後継者への技術の継承を目的とした研修の充実及び維持管理マニュアル・台帳類の精度向上を図る。
②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
施設の老朽化に伴い、今後、整備費用の増加が見込まれることから、計画的かつ効率的に整備等を進める。

5. 課長意見

	(1)一次評価者	としての評価結	果		(2)全体総括(振り返り, 反省点)	
一次評価	① 必要性:	● 妥当	○ 見直し余地あり		浄水場の施設整備を効率的に進めるとともに、職員の技術継承、資質の向上に努めた。その結果、大きな事故もなく安全でおいしい水	
価	② 有効性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり	" <mark>-</mark> /	を安定的に供給することができた。	
	③ 効率性 :	○ 妥当	● 見直し余地あり			
	④ 公平性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり			
	(3)今後の事務	の方向性(改革	改善案)			
今後の方向性は	□ 終了 ☑ 継		□ 現状維持(従来通りで特に □ 改革改善を行う □ 事業統廃合・連携	こ改革改	善をしない)	
の方向性と改革改善案	 - 方向付けの理	由と改革改善 <i>の</i>	D _D			
	ハード面の整備を引き続き図りながら、職員の早期技術習得及び人材育成を目的に策定した運転管理マニュアルの活用を図り安定給水の確					
	保に努める	00				